

令和5年度 学校教育目標

教育行動指標「認め、ほめ、励まし、伸ばす」と令和5年度特別支援教育取組の方向に則り、校長を中心とした指導体制を強化して、学校と家庭・地域社会の連携のもとに、教職員が一体となり、障がいのある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や将来の豊かな生活に向けて、教育目標の達成に努める。

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の能力や適性に応じた教育活動を実践する。
- 2 互いに励まし助け合い、たくましく生き抜く児童生徒を育成する。
- 3 社会的自立や将来の豊かな生活に向けての知識・技能・態度を育てる。

重点目標

- 1 一人一人の教育的ニーズを把握し、発達や障がいに応じた教育の推進
 - (1) 児童生徒の実態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
 - (2) 危機管理の徹底、安全・安心を守る教育の推進
- 2 基礎的な学力の向上と健康で明るい生活を送るための調和のとれた心身の育成
 - (1) 人権尊重、人権教育の推進
 - (2) いじめ防止に向けた取組の強化
 - (3) 性に関する指導の充実
- 3 将来の自立と社会参加を目指したキャリア教育の推進と共生社会の実現
 - (1) キャリア教育の推進と進路支援の充実
 - (2) 交流及び共同学習の充実
- 4 教職員の専門性・資質・指導力の向上と組織的・計画的なカリキュラムマネジメントの推進
 - (1) 教科指導や自立活動、日常生活の指導等の専門性の向上
 - (2) ICT教育の充実・実践
 - (3) 働き方改革における効果的な教育活動
 - (4) 不祥事防止の徹底（児童生徒・保護者に寄り添った教育活動）
- 5 家庭、地域、関係機関との連携した教育活動の充実
 - (1) 保護者・地域社会から愛され支えられるパートナーシップ、PTA活動の充実
 - (2) 関係機関とのネットワーク強化及び地域支援（センター的役割）の充実

めざす学校の姿

「子どもたちが笑顔で登校し、自己実現が図れる学校」

